

世界人口の動向と生命保険マーケット

生保マーケットにおける「中国の米国超え」は実現するのか



保険研究部 上席研究員 有村 寛
arimura@nli-research.co.jp



ありむらひろし
89年 日本生命保険相互会社入社
90年 ニッセイ基礎研究所
95年 日本生命 商品開発部等を経て
21年 ニッセイ基礎研究所

1——世界の人口動向

国連は、昨年7月に世界人口推計を公表した。[図表1]は、2050年、2100年の推計値における人口上位10か国である。

既に2021年に人口ピークを迎えた中国は、2024年の14億1,900万人から、2100年には、半分以上の6億3,300万人になるとされている。同数値は、コロナ禍前の2019年に公表された人口推計(2019年人口推計)では、10億6,400万人とされていたが、コロナ禍を経て、予測値も大幅に引き下げられたことになる。

また、インドは、2061年にピークを迎えた後は、緩やかに減少することが予想されている一方、米国は、順位は落ちていくものの、今世紀中は人口が増え続けるという。

2——世界の生保マーケットは

どうなっていくのか

上記の中国の将来人口が著しく減少する、との予測をみると、生保に関する調査・研究を担当している筆者としては、生保マーケットにおける「中国の米国超え」はど

うなるのか、ということが気になってくる*1。

[図表2]は、スイス再保険による2013年、2023年における各国の生保収入保険料の実績値、ならびにアリアンツによる2034年における予測値である。

中国、インドの成長は著しく、2034年には、中国は米国の約8割に迫り、インドも米国の約4割になるとされている。

一方、米国、中国の2023年、2034年における人口一人あたり保険料や増加率等に基づき、将来における収入保険料を試算してみたのが[図表3]である*2。

コロナ禍前の「2019年人口推計」に基づく予測では、中国生保収入保険料は、2045年に、米国を2.6%上回り、2050年には再び米国に抜かれる結果となったが、「2024年人口推計」に基づく予測では、中国生保市場の米国超えはみられなかった。また、2100年時点では、いずれの予測で

も、中国の生保マーケットは米国に大きく水を空けられることとなった。

前提の置き方によって予測値も変わってくるため、[図表3]で示した数値は、あくまでも一つの試算例であり、目安に過ぎないが、当試算結果からは、中国生保マーケットの米国超えの実現は、予断を許さない状況にあるとも考えられる。

なお、今回の試算では示せなかったが、インドは、ピークを迎えた後の人口減少も緩やかで、2100年時点の人口も、2位以下を大きく引き離している。生保収入保険料においても、2034年以降、遠からず米国、中国に迫ってくるのみならず、中長期的には、一位になることも十分考えられる。また、アフリカ諸国も人口の急増とともに生保マーケットも急成長を遂げるであろう。

人口動向は、生保マーケットに与える影響も大きく、マーケット予測等における主要な項目の一つと考えられることから、今後も引き続き、注視したい。

[図表2] 2013年、2023年、2034年の各国生保収入保険料
(上位10か国)【単位:億ドル】
資料:2013年、2023年は、スイス再保険「World insurance in 2013」、
「World Insurance 2024」より。2034年は、Allianz「Allianz Global Insurance Report 2024」より筆者作成。

順位	2013年収入保険料	2023年収入保険料	2034年収入保険料
1	米国 5,328	米国 7,148	米国 10,666
2	日本 4,227	中国 3,904	中国 8,656
3	英国 2,228	日本 2,771	インド 4,068
4	フランス 1,601	英国 2,369	英国 3,722
5	中国 1,521	フランス 1,700	日本 3,405
6	イタリア 1,179	イタリア 1,105	韓国 2,634
7	ドイツ 1,143	インド 1,001	フランス 2,282
8	韓国 912	ドイツ 933	イタリア 1,631
9	台湾 750	韓国 843	ドイツ 1,171
10	カナダ 523	カナダ 703	カナダ 1,097

[図表3] 米国、中国の生保収入保険料の将来予測【試算】
【単位:億ドル】出典:注釈2に記載の前提に基づき、筆者にて試算。

		2040年	2045年	2050年	2100年
「2019年人口推計」に基づく予測	米国 [人口(万人)]	13,244 [36,600]	15,866 [37,300]	18,946 [37,900]	109,746 [43,300]
	中国 (対米国)	13,028 (98.4)	16,279 (102.6)	18,782 (99.1)	72,270 (65.9)
	人口(万人)	[144,900]	[142,900]	[140,200]	[106,400]
	中国 (対米国)	13,375 [90.3]	15,984 (93.1)	18,996 (88.9)	106,705 (40.3)
「2024年人口推計」に基づく予測	米国 [人口(万人)]	13,375 [37,000]	15,984 [37,600]	18,996 [38,000]	106,705 [42,100]
	中国 (対米国)	12,073 (90.3)	14,875 (112.7)	16,880 (88.9)	42,995 (40.3)
	人口(万人)	[134,200]	[130,600]	[126,000]	[63,300]
	中国 (対米国)	12,073 (90.3)	14,875 (112.7)	16,880 (88.9)	42,995 (40.3)

[図表1] 人口上位10か国(国連推計)
(10万人以下、切り捨て) 出典:国連HP。

順位	2024年	2050年	2100年
1	インド 14億5,000万人	インド 16億7,900万人	インド 15億500万人
2	中国 14億1,900万人	中国 12億6,000万人	中国 6億3,300万人
3	米国 3億4,500万人	米国 3億8,000万人	パキスタン 5億1,100万人
4	インドネシア 2億8,300万人	パキスタン 3億7,100万人	ナイジェリア 4億7,600万人
5	パキスタン 2億5,100万人	ナイジェリア 3億5,900万人	コンゴ 4億3,000万人
6	ナイジェリア 2億3,200万人	インドネシア 3億2,000万人	米国 4億2,100万人
7	ブラジル 2億1,100万人	エチオピア 2億2,500万人	エチオピア 3億6,700万人
8	バングラデシュ 1億7,300万人	コンゴ 2億1,800万人	インドネシア 2億9,500万人
9	ロシア 1億4,400万人	ブラジル 2億1,700万人	タンザニア 2億6,200万人
10	エチオピア 1億3,200万人	バングラデシュ 2億1,400万人	バングラデシュ 2億800万人
(参考) 日本	日本(12位) 1億2,300万人	日本(17位) 1億500万人	日本(32位) 7,600万人
世界計	81億6,100万人	96億6,400万人	101億8,000万人

[*1] アリアンツでは、「Allianz Global Insurance Report 2022」において、コロナ前は、保険マーケットにおいて中国が米国を超えるのは、2030年頃だとの予測する機関が多かったが、コロナ禍を経て、それは2050年頃になるのではないかと、としている。

[*2] 試算にあたり、以下の前提を用いた。
①2023年から2034年における米国、中国それぞれの「人口1人あたり保険料」ならびに平均増加率を算出。

②①で求めた「人口1人あたり保険料」の平均増加率について、米国は「2035年以降も同じ増加率が継続」と仮定。中国は、「中国の名目GDPは、2033年に米国の水準を一旦上回ることが予測され、2050年には再び米国が中国を上回ることが見込まれている」(通商白書2022、P206)を参考に、「2050年までの16年のうち、前半8年はそれまでと同じ増加率が継続、以降(2050年以降も同様)は米国と同じ増加率で推移する」と仮定。

③①、②で求めた、米国、中国の「人口1人あたり保険料の将来値」と「2019年人口推計」、「2024年人口推計」に基づき、各年の生保収入保険料を算出。